PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-070035

(43) Date of publication of application: 05.03.1992

(51)Int.Cl.

H04L 12/56

(21)Application number: 02-180922

(71)Applicant : NEC ENG LTD

(22)Date of filing:

09.07.1990

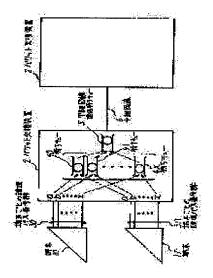
(72)Inventor: IGAI YUSUKE

(54) PREFERENTIAL TRANSMISSION SYSTEM FOR PACKET EXCHANGE NETWORK

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain the transfer of information with designation of plural preference levels and without using any additional information given from the terminals by setting the priority to each logical path number of terminals end producing a cell setting request with use of a logical path corresponding to the priority of the information to be transferred when a call setting request packet is sent by an optional terminal.

CONSTITUTION: The priority is previously set to each logical path number of each terminal. When the desired information is sent from a terminal 10, a call setting request packet is sent out through a logical path of the terminal 10. A packet exchange device 2 receives the call setting request packet and retrieves the date of a prescribed preference level based on the received logical path number. Then the device 2 recognizes the priority of the received request packet. When the data are transferred after a cell is set. The queuing is applied to a trunk circuit transmission queue 5 of a trunk line 6 at the ratio set previously for each queue via the queues 40-4x of the priorities corresponding to those recognized when the calls are set. Thus no addition means is required when the priority recognition information is added to a call setting packet.



⑩特許出願公開

② 公開特許公報(A) 平4-70035

50 Int. Cl. 5

識別記号 庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)3月5日

H 04 L 12/56

7830-5K H 04 L 11/20

東京都港区西新橋 3丁目20番 4号

102 A

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

| 公発明の名称 | パケツト交換網における優先伝送方式

②特 願 平2-180922

20出 願 平2(1990)7月9日

72発明者 伊貝 祐介 東京都港区西新橋3丁目20番4号 日本電気エンジニアリ

ング株式会社内

の出 願 人 日本電気エンジニアリ

ング株式会社

個代 理 人 弁理士 内 原 晋

明細瘤

発明の名称

パケット交換網における優先伝送方式

特許請求の範囲

2. 前記パケット交換装置は呼設定要求パケット受信時に使用される論理パス番号に該当する優先度を認識すると対応する優先度で処理を行う待ちキューにキューイングすることを特徴とする請求項1記載のパケット交換網における優先伝送方

式.

発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はバケット交換網における優先伝送方式に関する。

〔従来の技術〕

従来のパケット交換網における優先伝送方式は、優先度を網側で認識するための方法として、呼設定パケットに優先度認識情報を付加する方法、あるいは端末ごとに単一の優先度割り付けを行う方法を採用していた。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来のバケット交換網における優先伝送方式の優先度認識方法では、各端末の呼設定時に、優先度認識情報を呼設定バケットに付加するための付加手段が必要となるか、あるいは一つの端末には一つの優先度しか持たせることができないという問題点がある。

〔課題を解決するための手段〕

本発明のパケット交換網における優先伝送方式が表別の計理パスを開いてパケット多重通信をで選択がある。では、大大な機関における優先伝送方式に各名優先伝送方式に各名優先に数の論理パス番号に各名優先に数を定する優先度を認識し、この優先度レベルに従って前記パケット交換網内を優先転送する構成である。

本発明のパケット交換網における優先伝送方式は、前記パケット交換装置は呼設定要求パケット受信時に使用される論理パス番号に該当する優先度を認識すると対応する優先度で処理を行う待ちキューにキューイングしてもよい。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。

鑑末10は、パケット交換装置2と接続し、予

次に、動作について説明する。

認識した優先度に対応した優先度の待ちキュー40~4×を経由して、待ちキューごとに予め定めた比率で中継線6の中難回線送信待ちキュー5ヘキューイングする。端末1nにおいても、同様の処理を行い、各端末10~1nからそれぞれ複数 a~×の優先度の情報をパケット網内に収容でき、パケット交換網内での優先伝送を行えることになる。

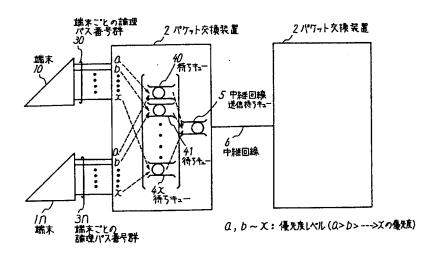
〔発明の効果〕

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。

10~1n…端末、2…パケット交換装置、30~3n…端末ごとの論理パス番号群、40、41、4x…待ちキュー、5…中継回線送信待ちキュー、6…中継回線。

代理人 弁理士 内 原 習



第 1 図